



江南の風

江南小学校 校長室通信
平成29年 6月 23日 発行
通算 第 7 号

教育目標 強い子になろう

全校朝会の講話で伝えたこと

校長 花生 典幸

本校では、毎週火曜日に全校朝会があります。

年間で39回予定されていますが、そのうち7回を「校長講話」という時間にもらっています（本当のところを言うと、あともう少しほしいなと思っています）。

5月23日（火）の一回目の時は、〈メビウスの輪〉を扱いました。長い紙の帯をひねってつなぎ、それを子どもたちの目の前で切ってみせました。結果、紙は長くつながって大きな一つの輪になりました。「では、二回ひねると、どうなるでしょう？」交差した二つの輪ができあがります。「では、三回では？」……食い入るように見ている子どもたちの視線を、とてもうれしく思いました。

この「講話」で、子どもたちに伝えたかったことは、

センス・オブ・ワンダー（不思議の感覚）

をもつことは大事であるということです。

5月30日（火）の二回目、6月20日（火）の三回目の時は、

天才は、1%のひらめきと99%の努力である

というエジソンの言葉を引き、努力することの大切さについてお話をしました。その中で、「このエジソンと同じことを言った、みなさん全員がよく知っている日本人？がいますが、だれだと思えますか？」とクイズを出して考えてもらいました。校長室の前に、箱を置いて、答えを募集したところ、12通集まり、なんとその中に正解者は一人しかおらず、子どもたちは驚いていました。さて、その正解は「◇◇◇◇◇」でした。正解を聞いて驚いている子もいました。

講話の最後には、「ピンチの時には自分を支えてくれる言葉（格言）をもつこともいいですよ」というお話をして、わたしを支えてくれた言葉ということで



一步前へ



という言葉を伝え、みなさんもこういう気持ちで日々がんばってほしいというわたしの願いを伝えました。

3階・児童会
室のベランダ
の壁の隅に、ツ

バメが巣をつくり、雛を育てています。毎年ツバメは学校に来ていても、巣を作るのは、初めてだそうです。うれしいことですね。みんなで騒がないようにして、見守っていきます。

ツバメの巣作り



① どこに行っても、あいさつが立派！ 返事や反応(受け答え)が立派！

とにかく、どこへ行っても、誰に対しても、あいさつが立派でした。

「よろしくお願いします」「ありがとうございました」など、物怖じせずに張りのある声でなされるあいさつは、行く先々でほめていただきました。バスガイドさんとのやりとりの場面でも、それは発揮され、引率した者としては、鼻が高かったです。

② 行動がてきぱきとしていて、先を見越して動ける子どもたちが多い

学級担任の昆先生は、集合する時には、いつも5分前行動をめやすとして示すのですが、子どもたちは、その10分前には、集合が完了しているのです。もちろん、トイレも済ませて。てきぱきとした行動はまわりにさわやかな印象を与えてくれるのだなと思いました。

③ 協力・思いやりが自然にあふれ出る、男女ともに仲のよいクラス

北海道へ向かう新幹線の中では、子どもたちは、男女関係なくいっしょにトランプをしたりしながら、楽しそうに過ごしていました。自然に譲り合ったり、折り合いをつけたりしているそのようすに、本当に子どもたちの仲のよさを感じたしだいです。「いじめ」という言葉が付け入るすきのないその雰囲気がありがたく思いました。

プール清掃 感謝です!

6月5日(月)のプール清掃の際には、「**プール清掃サポート隊**」として、18名にもものぼる保護者・地域の皆さまにお手伝いいただきました。

少し寒い中での作業でしたが、おかげさまで、プールの壁面、底面ともに汚れが落ちて、すっかりきれいになりました。学校を支える地域の力をまたまた強く感じました。

心から感謝申し上げます。ありがとうございました。